なかさと

発行所 中里村公民館

印刷所 十日町新聞社

就任御挨拶

田沢小学校長 木下正一

このたびの教員の異動で、中頸城郡の板倉中学校から御当地の田沢小学校へ参りましたものであります。謹んで新任の御挨拶を申上げます。

今年は近年にまれな大雪の年で、残雪も多く、春耕の時期、御活躍の春を前にして、何かと心せかせられますことゝ存じます。

学校ではすでに春を迎えて、新学期に入りました。希望の春らしく子供達は元気に新入の一年生はいうまでもなく、各学年ともそれ〴〵過般の喜びを胸一ぱいに抱いて通学を始めました。新任後僅かな私ではありますが、子供さん達の毎日の学校生活はなんともいわれないほゝえましさを感じます。はち切れそうな若さの、ピチピチした子供さん達で学校生活を共にしてゆくことの出来る私は大きな喜びを感じます。しかし又同時に責任の重大なるを考えて、心に粛然たるものを覚えます。

幸い今までは、狩野前校長先生の優秀なお力により立派な経営がなされ、従って、先生方も恵まれ、従って、先生方も

清新の気みなぎる入学風景
——田沢小玄関にて——

保育所入所式

想う存分に教育のためにお働きになられてこられました。

皆様の御信頼厚い狩野校長先生の後を、年令だけは一人前に採ったが全くの1年生が引継いだわけでありまして、誠に内心力の足りなさを痛感致します。広く皆様方や村内各学校の先生方の御指導によって、一日も早く、少しでも多くを学び取ってその後をけがさないように努めたいと熱願しています。

今年は、小学校の教科課程の一応完成をみ、県では道徳教育の徹底、科学理科教育の充実と保健体育の振興等に努めるようにいわれていますが、なにはともあれ、明日を担う子供達、皆様のよい子達が、良い勉強の出来るところ、良い運動の出来るところ、良いお仕事が出来るところ、伸びゝ〴〵とした素直な子供になる、そんなところであるような学校を、そして笑いの湧き出る学校、工夫と発展の活気溢るゝ、学校を心にえがきながら、精進致したいと思っています。何卒、大方の御高導を願い上げます。

昭和三十六年度 保育所開所

去る四月十日、昨年発足した中里村保育所、第二回入所式が行われた。本年度入所希望者は九十名であるが運営委員会では全員収容することに決定、十一日より五才児、二十一日より四才児が登所することになった。また施設の充実の面では事務室便所を改造、屋外運動場を拡張する予定である。

尚、高橋、阿部の両保母さんに本年度より幸沢の保坂サトさんが増員となり三名となった。

＜保育所全景＞

役場職員新規採用

中里村役場では四月一日付公募による新規職員、左記の通り採用し、辞令を交付した。

栄養士 樋熊順子（二二）
保健婦 羽鳥ヨリキ（三二）
雇 井ノ川洋一郎（一九）
雇 大島 巌（二〇）

公民館活動に想う

公民館書記 村山 武

公民館に奉職してよりこの四月一日をもって満一ヵ年が経過した。社会教育法第二十条によれば、公民館の目的は「住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化の振興、社会福祉の増進に寄与する……」ことなのである。この目的に従って公民館は同法第二十二条の七項目の事業と予算の範囲内で全頭脳力と全エネルギーをふりしぼって行って来た。今こゝで痛感することはその七項目の仕事を完全（満足）に行い得るにはあまりに我等は無力であるということだけである。

いったい公民館の活動にたずさわる者はどの程度にやることが満足ゆけるものか、それは無限であろう。目的のどれ一つをとってみても明確に極点を示し得るものは一つもないからである。従って極点のない目的に向って進むことは茫漠たる大砂漠を行くが如くであろう。

私が今こゝで私なりの公民館の使命について語る場合には館長とか主事とか、運営委員とか、その他関係者の意見や主張をはなれ、私の意見を述べることになるので予め、ことわっておきたい。

何やかやと、騒がにやれ社会教育の話し合い、学習の新生活運動のと、近来「社会教育ブーム」とでも呼ぶべきか、大学の先生や、高校の先生までが農村地域へ流出して来はじめ、ようやくにして表面活気を呈して来たようではある。あるいは憂ぶべきことかも知れない。私の疑問とするところは、これらの大学の学者の話が農村を指導する世論の先頭に立っている事実とそれにもかゝわらずその論旨の内容があいまいであり明確を欠見通しを示し得ない事である。

先日、某所で某氏の農業経営問題についての講演を聞いた。氏の談話の全体の印象では「儲ける農業」「企業化、機械化」「果樹、畜産の大量生産」「共同化」これらいづれをとらえてみても一人々々の零細農民の今日の段階に於て、今すぐ実現できるものはなく、資金も必要であると同時に経営マンとしての能力、知識、訓練が何よりも必要条件となって来る。

共同化が主目的ではなく、自由主義経済体制（資本主義経済体制）の中で自立農業経営を推進するのだという。また経営規模の適正化により農業の近代化を促進するという。更にその近代化により、他産業との所得格差をなくしてゆくのだという。これはいち〳〵尤もなことばかりである。

農業の構造が改革、整理され自立大農経営の農村社会がつくられてゆくにしたがい、また産業振興により農村労働力が他産業へ吸収されることにもなろうがその離農者対策はどうか。ひっきょう、離農人口が低賃金労働者と化すのではないか。また十年後のこの国の経済機構の中で、農業の企業としての位置づけはどうなってゆくのだろうか、企業間の自由競争の正体に独占支配という現象も出て来るが、この点どうなのか、他産業に隷属した企業としての農業が苦しい経営に迫いこまれることはないのか、価格支持とか、価格保障とかうまいことを言っているが、現在の米の価格のようなことにはならないのか。

大学の先生や、所謂農業問題の専門家は農村の世論の指導者であろうと信じて疑わないが、そしてか弱き農民の将来について責任ある言論を展開しているものと信じて疑わないがそれならば、農民の経済意識が「鼻もと慾」的近視眼から脱皮させるような広い視野に立った啓蒙的な説得に努力すべきではないか。唯どうすれば儲るとかあゝすればソロバンが合うとか言うことで、個々の農民の注視をあびることでごまかせる社会の状勢ではない。せっぱつまっているのだ。

私は公民館とは、かく政治的経済的、文化的各面で住民の先頭に立って村創りに邁進せんとする意欲を盛り立て、実践ならしめる役割をはたす場所と心得ている。

公民館活動とは汽車にたとえれば機関車の部分でなければならない。機関車が止っていれば乗客や荷物は動けない。後へさがれば乗客や荷物は目的の方向とちがった方向へ遠く退けられてしまう。機関車はあくまで、目的方向に向って突進すべきものなのだ。目的方向とは何か。私の思想によれば、歴史的必然の方向である。こゝではそれを具体的に説明する必要はない。唯、いつもどこへ行っても言っていることなのだが、人間としての権利、法律上認められた権利は勿論等に与えられるべきであるが、更に天地自然の道理にかなった、当然人間として平等に与えられるべき権利の獲得に全ての人間は邁進すべきなのだ。人類が、宇宙を旅行できるような世の中になった。

ともあれ手をこまぬいて空を仰いでいても現実は何ともならない。下をむいて働こう。目的にむかってやはり強く働く者のみが勝利者たり得るのだ。公民館を茶の間として、今年も新しい村づくりに邁進致しましょう。

学校教員異動

——狩野田沢小学校長御栄典——

昭和三十五年度末の教職員の異動は四月一日付で県教育委員会から左記の通り発表されたが今回は田沢小学校長の転出を初めとしてこゝ数年来の水準同一校勤続者の交流退職等を含めて十五件である。

◎転出、退職

▽田沢小 狩野利雄（関原小）高島昌弘（中条中）村出十四（退職）

▽高道山小 小島義秀（宮野原小）

▽清津峡小 岡田悦（平丸小）井口國（外丸小）

▽倉俣小 岩田昌（退職）田村音八（樽出小）

▽田沢中 森忠（柳島中）西田徳子（十日町中）

▽倉俣中 萩原密（青海中）

▽貝野小 南雲勝治（大沢中）阿部シズ（長沢小）

◎転入、新任

▽田沢小 木下正一（板倉中）渡辺春枝（池谷小）尾身辰雄（妻沢小）

▽高道山小 中村春雄（新卒）

▽清津峡小 関谷千枝子（新卒）渡辺和子（新卒）

▽倉俣小 遠藤千鶴子（大白川小）渡部貢（新卒）

▽田沢中 水井文一（新卒）

▽倉俣中 南清実（新卒）

▽貝野小 伊東徳尚（新卒）幸田淳子（新卒）

◎配置替

▽田沢小 井川セツ（清津峡小）

▽清津峡小 広田葉子（田沢小）

全戸にフレー缶を

発生源退治に

"想像してみて下さい。蚊や蝿がいなくなったらどんなに健康的な夏を過すことができるでしょう。蚊や蝿はとびまわるようになってから退治に向っても、薬屋さんの薬公をするだけで決して撲滅することはできません。登生源を退治することです。それの一つの方法として各戸にフレー缶は殺虫剤、粉末を入れ、つりかけることによってハエはウジのうちに蚊はボウフラなどで幼虫のうちにノミ、シラミ、家ダニは大掃除のとき床上に撒布で退治できる。手軽で便利なものです。部落の衛生自治会長さんに申出られゝば心配してくれます。

お知らせ

今まで皆さんから経営改善のよき友として、御愛読いただきました「農業改良だより」は五月より各地区ごとに発行することになり、中里、水沢両村にお願い致しまして、毎月この紙面（三面）に掲載、皆さんにお届けすることになりました。

時間と言葉

副館長　佐藤伍郎

二月定例の公民館職員会議で今年の努力目標に時間を守ることと、言葉づかいを改めることが決められた。公民館経費が少いと何がしら、行事倒れになる傾向はあるが、日常私共が社会生活を営んで行く上に金のかゝらぬ改善事項がある。それをお互いの努力で展開していこうではないかとの結果である。

「時間の励行」ということは色々の地域で強調されているがどうも外国に比べて劣っているようだ。特に田舎に於いてうまく行かない。公会の開始時刻の不合理から、交通機関を利用する人が定刻に集まり得なかったり、どうせ遅く始まるのだからと楽観して、悠々とまかり出るのが常態のようである。顔役が見えないと開会しても申し訳ないように思われ、定刻までに集まった人が随分退屈し、不平を鳴らしているのに待ちわびている場合が実に多い。時間は申すまでもなく、人生の一部分であり、しかも金銭では取り戻すことの出来ない尊いものである。それを個人の都合により大勢に迷惑をかけることは非常な間違いである。正確を何よりも尊ぶドイツでは、時間の約束を守らぬ者は他人の人生の一部を盗むのだと決めつけ、公会に遅刻した者はその会に発言権なしとの社会通念を持っている。考えてみると、子供よりも成人が時間観念にルーズであるとすれば、大人は大いに自戒しなければならないことである。

①農繁先決②農閑の事前通知③発言の簡明④司会の修練⑤私語の自粛。これらの事は時間の節約をはかる要素であるが、最も大切なことは定刻厳守の思想を各個人が自覚することである。言語は社会生活上極めて大切なものであるが、多くの人々は言葉には実に無関心である。俗語に「丸い卵も切りようで四角、物も云いようで角がたつ」と教えられているが、一分間の言葉の中にもその人の人柄がうかがわれ、不用意の発言が晴天のヘキレキの如き禍紋を投ずることも少くない。

言葉の要素は、正確と明快と気品と普遍性である。所が田舎に入ると特に気品と普遍性に欠ける場合が多い。子供たちの言葉を聞いても、バカヤロウ、アマ、ベラボー、チクショーのような下品な叫び言葉が多く、ブチャル、ゲェニ（多く）汽車がズルのような語感の悪い方言があり、大人の会話にもイッソ、ナジョ、ハチャなどの無意味な接続詞が頻発する。方言は、その全部を駆逐する必要もないが通用範囲の狭いもの、語感の悪いものを追放しなければならない。殊に社会生活が非常に拡大した今日、少くとも青少年は流暢な標準語を使いなれる修養が必要である。その為には家庭や地域がその気持になって言語環境の改善をはかることが肝要である。

先進国では国語育成という事が叫ばれ、その国の言葉をもっと正しくもっと美しくする営みが続けられている。所が我が国では、美しい文学作品に残る優秀な国語を持ちながら、戦後特に外国語が氾濫し、俗悪な新語奇形語が作製され、それらはちょっと真新しいというので、普社会に拡がり結局、国語の純潔性が虫ばまれつゝあるのは悲しいことである。

山紫水明、人情純朴な中里の地にも、言葉に対する自覚が強まり、おだやかな中にも気品のある対話がくりひろげられたり此の地域社会はもっとよくなると思う。

保国 必ず！守って下さい

いつも申し上げお願いしていることですが、国民健康保険の被保険者に移動のあったときは必ず、そして早く届け出て下さい。

◇届出に必要なもの◇

◎転入、転出（保険証と認印）

◎出産、死亡（保険証と認印）

◎他の職場保険などに加入したとき及びその扶養者でなくなったとき（認印と国保及び職場保険の保険証）

今回の切替えのとき届出でのなされていなかったものがかなり分ありました。

役場、支所に世帯員の移動（転入、転出）婚姻を含む出産、死亡）届けをする際、必ず保険証をもって一緒に保険の届出をするようにして下さい。

（注）今後移動の諸届けに際して、保険証を持っていないと受付けられないことがあります。

◇学生でなくなったとき◇

学生で村外に出ている人にはその人だけの保険証が交付されていますが、その人が学生でなくなったときはその保険証は必ず早くに役場へ返して下さい。

◇遠く（又は県外）の医者にかゝる人◇

県内の医者にかゝる場合は、新潟であろうと長岡であろうと必ず保険証を提出して自分で払う分は半額だけにして下さい。

（新潟大附属病院は別）

今額払ってきてあとで役場へ半額分を請求されても、原則として旅行中の急病で応急措置としての治療代以外は支給できません。又県外（主として東京方面）の医者にかゝろうとするときはその前に必ず役場に申し出て下さい。事前に連絡のない場合は患者本人に多額の負担がかかることがあります。

山の肥培管理

あなたが植えて育てた木が、あなたの手で何度も伐れたらどんなに楽しく張りのあることでしょう。これが林業家の永年の夢とされておりました。ところが、山に肥料をやるという。今までかえりみられなかったことによって夢が夢でなくなったのですから、なんと素晴しいことではありませんか。今や肥料をほどこした山林は全国で十数万ヘクタールにも達しており、いづれも良い成長をつづけております。こうして自分で同じ山から一生の間に二度も三度も収穫があげられますので、林業は格段と有利な企業となってまいりました。どうぞ肥料をつかった肥培管理によって皆さまの財産をさらにふやそうでは、ありませんか。

◇施肥方法（造林地の場合）

❶植穴は十分に大きく深く掘り普通どおり植えます。

❷施肥には鍬や鉄棒で苗木一本当り傾斜上部と左右の三カ所に穴をあけて図に示す位置に肥料をいれて土をかぶせます。

❸古い造林地のときには、植栽列の中央部を通して適当な間隔に肥料をほどこします。

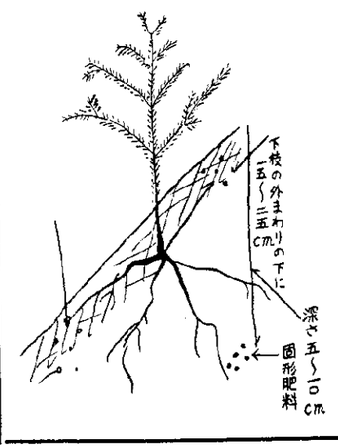
❹酸性、強酸性の土壌では石灰で中和してからほどこす。

❺施肥時期は春先がよく、また春先に半量ほどこしたあと、下刈直後に残りの半量をほどこすとさらに良い効果をあげます。

❻下刈は手おくれにならないように早目に実施して下さい。

◇使い方

肥料は根にふれないように近くにほどこします。施肥量（植えた年の一本当り）固形肥料一五ケで一坪（三〇㎡）約一三〇㎏施せます。



駐在署の異動

大月（田沢）
中沢（貝野）が赴任

十日町警察署管内管の人事移動で長岡田沢駐在署に勤務された喜多巡査は、三条警察管内へ転務になり、後任に十日町本署防犯課勤務の大月巡査が赴任した。また貝野駐在署も異動があり野上巡査の後任に中沢巡査が赴任した。

普及だより

編集　中部普及所

今年の長期予報と稲作り

先日発表になった、今年の長期予報によると、そう大した心配はなさそうである。

今の技術を充分コナシさえすれば、今年も又豊作であろう。ただ問題なのは、この大雪で春が向うへひるのはたしかであり、長期予報によると、九月が昨年みたいに、残暑がなく秋雨模様で、早冷気味だというから結局、おそい春と早い秋にハサミ打ちになって、短かい間にナンギしなければならないという事になろう。

四三月の気温は、時々低温はあるが、平年並かヤヤ高めで、六七月のツユは、入りも上がり平年並で六月には中休みがあり又、上りぎわに局地的な大雨がふりそうである。

ツユ明け後八月の盛夏期は、一時的に低温になることもあるが、大体平年並ということである。

——苗　代——

何といっても早くまく事である。改良苗代（保温が簡易）に芽出しをしてまき、クンタンは充分かけよう、保温は少し緩めの床にスジをすりこめば上はいらない、畑苗代は簡単な様でいて仲々むずかしいから充分注意してやろう（温度とツユ）。

水苗代はもうすっかりやめよう。今年あたりむりである。

——本　田——

とかく、今迄畑苗代の流行から、若苗の早植が多く、草出来だけは日本一だが穂になるのが少く、おまけにみのりが悪かったが、これは若苗のせいが多いから、苗代は四〇日位の成苗を使うようにしよう。

又、窒素質肥料は幾分ひかえ目にし、下層肥が出来れば尚更よくなろう。

姫葉モグリの出る処は消毒を忘れずに、ヒエ退治のPCPの使い方も間違わないよう、特に魚には注意しよう。

家畜のモウケは エサの自給から

◇肥　育　牛

◎粗飼料

夏—野草又は、青刈類

冬—乾草、ワラなど

一、三〇㎏

エンシレージ

二、二五〇㎏

七五〇㎏

粗飼料は殆んど野草、ワラなどで栽培計画の必要性ない場合が多いが、夏季肥育の場合、一部青刈飼料（特にマメ科飼料）の必要がある。

濃厚飼料の七五〇㎏は、米糠七五㎏、フスマ二二五㎏、こく類三〇〇㎏、大豆粕一五〇㎏となり、自給栽培計画の必要なものは、こく類三〇〇㎏（主要穀麦）であり、これは甘藷九〇〇㎏でもよい、大豆粕も大豆を栽培自給する。

◇　豚

◎肉豚（離乳後より一〇〇㎏にするまで）

糸粕（大豆粕）　五二㎏

穀類　一三五㎏

いも類　六五〇㎏

青草　一一〇㎏

◎繁殖豚（体重一五〇—一八〇㎏で年一回分娩）

魚粕　二六〇㎏

穀類　四五〇㎏

いも類　一、九〇〇㎏

青草

配合割合はいも五〇%、又カ類三〇%、魚粕（大豆粕）二〇%位であり、甘藷一〇アール栽培すれば、肉豚三頭は飼うことが出来る。

スジあらいのやり方

良い種籾を選ぶことは稲作りの一番最初で一番大事なことです。良い種籾を選ぶ方法の一つとしての塩水選と消毒は次の方法で、必ず皆が実施するようにいたしましょう。

◇塩　水　選

塩水は、うるち、もち、陸稲によって濃さを変えなければなりません。塩の量は次のような目安で行います。

種籾をざるに入れ、塩水の中に浸し手早くかきまぜます。浮かんだ軽い籾を取り、残った籾を良く水洗いして水を切って終ります。

区別	比重	水	食塩の量
うるち	1.10～1.13	10㍑（5升5合）	1.75～2.40㎏（470～640匁）
もち・陸稲	1.08～1.10	10㍑（5升5合）	1.50～1.75㎏（400～470匁）

◇消　毒

消毒に使う農薬の使用量、時間などは次のようです。

薬品名	濃度	消毒時期	消毒時間
○剤ルベロン リオゲン○ ○剤メル	水10㍑（5升5合） 6○ （水1升に1○）	塩水選	6～8時間
		直後	2～4時間
メル	1,000～2,000倍		
ウスブルン	水10㍑（6錠）	浸種後 催芽直前	10～12時間

消毒液の温度は十五度○を目標にして下さい。冷たくとも十度以下にならないようにして下さい。

なお、塩水選も消毒も部落協同でやるようにしましょう。

技術の改善点 ナス作りのカナメ

一、**経営上からみた特性**

なすは農家消費者の需要は減ったとはいえ、農家の利用は大きく、キウリ、トマトにくらべてはるかに多い、栽培上からみて本畑期間の長いこと、高温性であること、連作が効かないことが特徴である。

二、栽培上の改善点

①熟期、収量面で新品種に更新するに検討を要する。

②**輪作も年限守る**

致命的な青枯病に対しては、できるだけ五年輪作を守る。仲間である、トマト、ナンバン、ペレイシ。はこまないようにする。もし年数の短い場合は耐病性の強いものを、あるいは畦の方向を変えてやる。

③**直播をやめる**

よい点もあるが非能率的である。遅播の一回移植か冷床育苗に切りかえ、小苗植にはポットキャップをかけるとよい。

④**肥のやり方を工夫、寿命の延長をはかる**

深根性作物であるから深肥が有効である。なすは多肥栽りで良く、果菜類中では最も多く施す。従来なすは落葉や実の病虫害は少いが、ボルドウ、ダイセンを撒布予防に努める。下葉をおとさぬことだ。

⑤**病虫害の防除**

⑥**整枝法を工夫する**

一般に三本仕立としたい、第一花のスジ下の芽二つを残し他を早目に除去する主枝とその二本を伸ばし結果面積を広げてゆく

三、育苗にはこんなこつ

なすは種子伝染による病が多いからボルマリン一〇〇倍液で二〇分、ウスブルンで八〇〇倍液に三〇分浸漬するとよい。ボルマリンの場合は水洗いをする。①発芽には○三十度以上三十三度位の高温を要する。本葉二枚ころの高温が低いと苗立枯病を誘発する。

②花芽分化は外界要素のうち肥や株間の影響をうける

床土は肥えていることが大切で、とくに速効性のリンサンが豊富にある。花芽分化の時期は播種後大体四十日頃で、トマトより遅く、本葉二、三葉のころである。強健ななすでも子葉の損傷は花芽分化と苗の発育をいちじるしく損する。

コトワザに「百花百成り」とか云われていたのは昔のことで今日では三割の落果をすることは通常となっていて、ドイツはなすの生理には、どうやらあわないようだ。